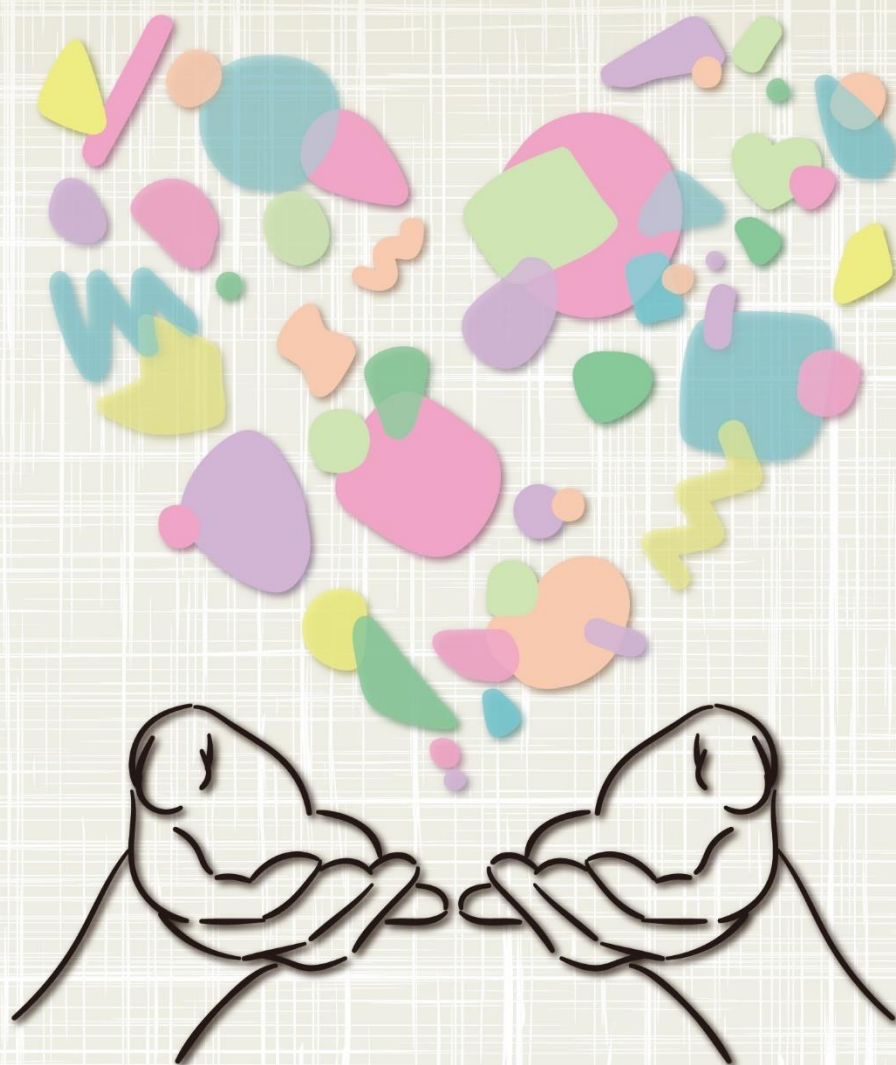


台東区多文化共生推進プラン

【概要版】



令和4年3月

台東区

1 プラン策定の背景

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、令和2（2020）年度にはこれまで増加傾向にあった外国人数が減少となりました。加えて、新型コロナウイルス感染症以外にも気象災害の激甚化やデジタル化の進展による翻訳技術の向上等多文化共生を取り巻く環境は大きく変化しています。

このように大きく変わりつつある社会情勢により柔軟に対応するためには、多様化・複雑化する外国人のニーズや多文化共生に関する課題を把握し、これまで実施してきた多文化共生の取組を体系的に推進する体制の整備が必要です。

そこで、区民の皆様や地域の関係団体と区が一体となって多文化共生の推進に取り組んでいくために、今回新たな計画である「台東区多文化共生推進プラン」（以下「本プラン」という）を策定することとしました。

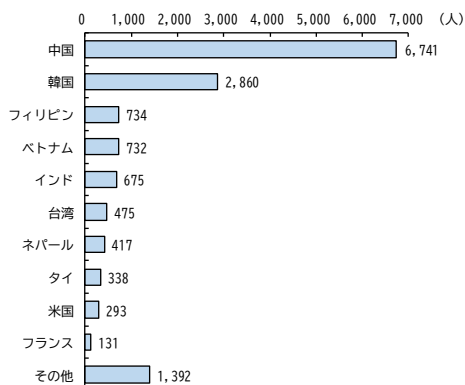
2 台東区の現状

区内外国人人口・総人口の推移



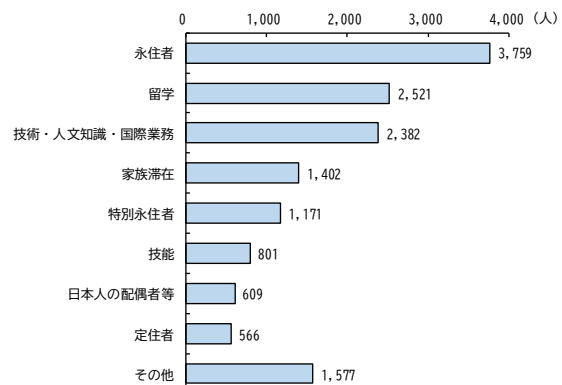
(出典)東京都の統計HP、台東区人口統計(各年1月1日現在)

区内国籍・地域別外国人人口



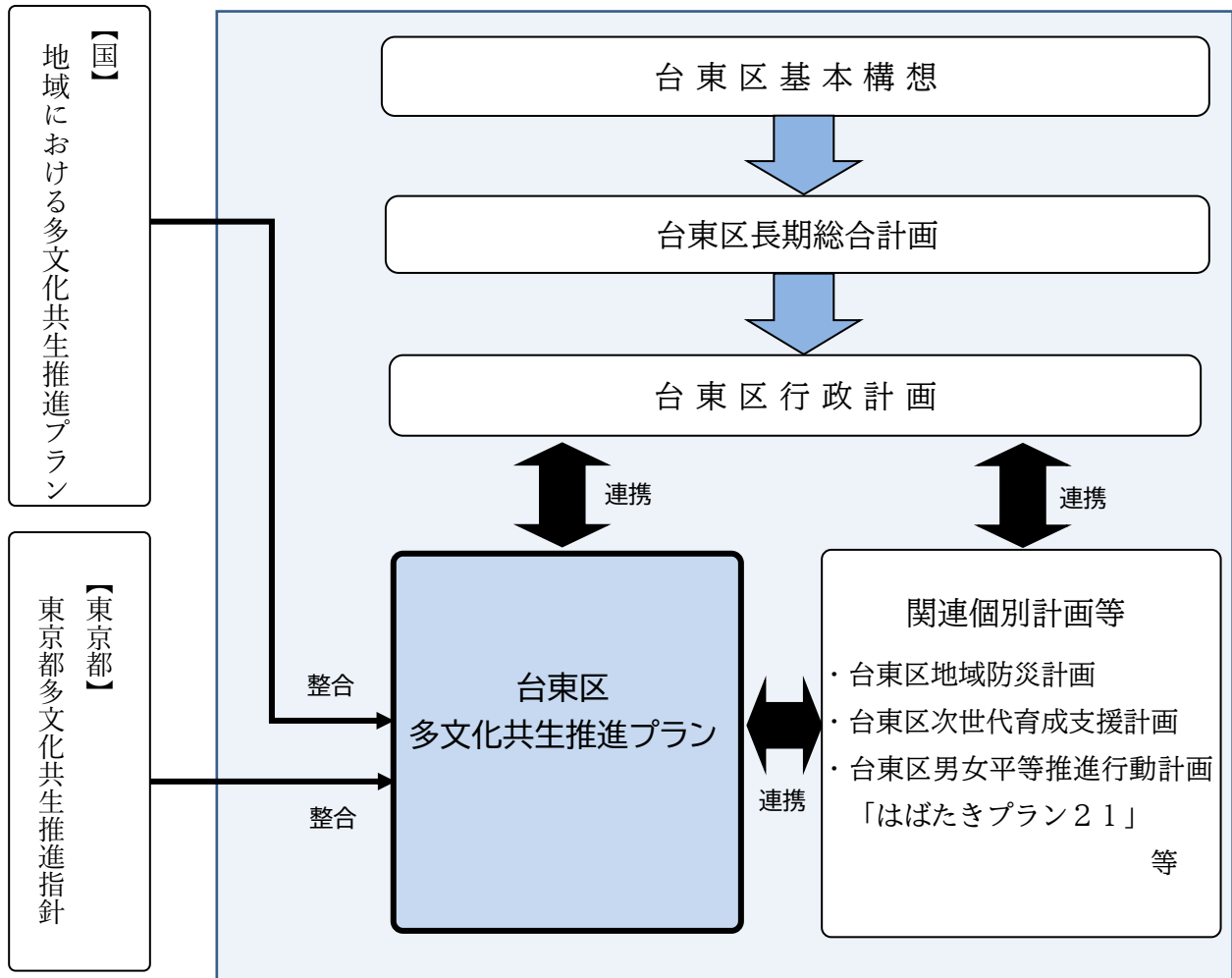
(出典)台東区人口統計(令和3年1月1日現在)

区内在留資格別人口



(出典)台東区人口統計(令和3年1月1日現在)

3 プランの位置づけ



4 プランの期間

本プランの計画期間は令和4（2022）年度から令和8（2026）年度の5年間とします。

年度	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
台東区 多文化共生推進プラン					

5 プランの基本的な考え

基本理念と基本目標

○台東区基本構想に掲げる将来像

世界に輝く ひと まち たいとう

住む人、働く人、訪れる人、すべての人々は、安全安心で多様性が尊重された社会の中で、希望と活力にあふれ、いきいきと活躍しています。

長い間、積み重ねられてきた歴史や、まちに息づく多彩で粋な文化は、台東区を輝かせる光として、人々の誇りや憧れであり続けています。

台東区は、「ひと」も「まち」も輝くことで、世界中の人々を惹きつけ、ともに更なる活力と魅力を生み出す「世界に輝く ひと まち たいとう」の実現を目指します。

基本構想に掲げる将来像の実現を目指すため、本プランの基本理念を次のように定めます。

<台東区多文化共生推進プランの基本理念>

言語や文化、生活習慣などの違いを相互に理解・尊重し合い、誰もが地域社会の一員として活躍できる「多文化共生」の地域社会の実現

「基本理念」に沿って3つの基本目標を設定し、施策を推進します

基本目標Ⅰ

外国人と日本人が共に安心して生活できる環境の整備

基本目標Ⅱ

多様性を尊重し、誰もが活躍できる地域づくり

基本目標Ⅲ

多様な主体との連携による多文化共生の推進

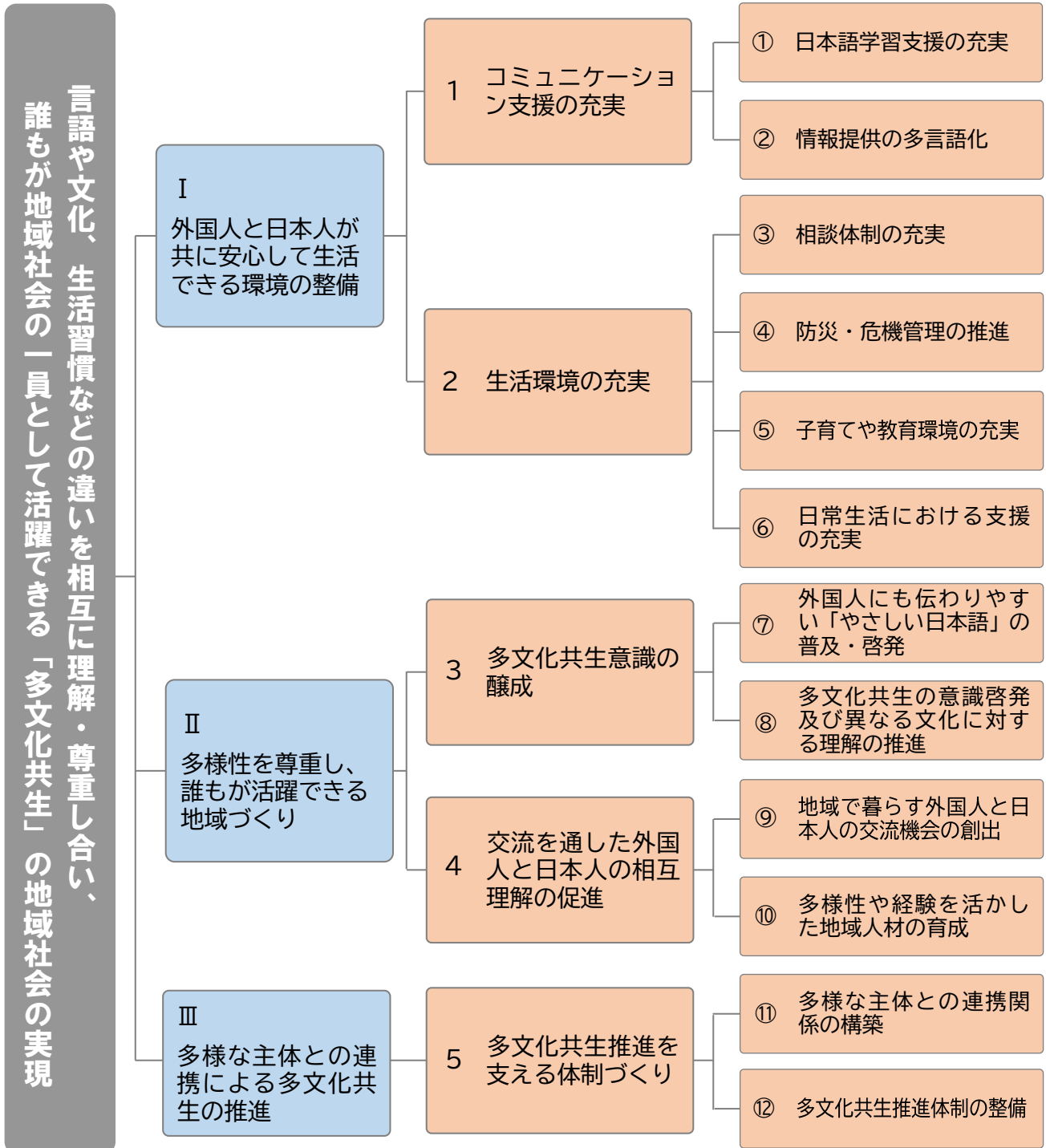
6 プランの体系

[基本理念]

[基本目標]

[施策]

[取組の方向性]



7 評価指標

本プランに基づく施策を推進するために、基本目標ごとに評価指標を設定し、進捗状況を管理します。

【基本目標Ⅰ】外国人と日本人が共に安心して生活できる環境の整備

評価指標	現状 (令和3年度末)	計画目標 (令和8年度末)	根拠となる データ
「日本語学習支援」に対する満足度 (「満足」「どちらかといえば満足」と回答する割合)	52.4% (令和2年度)	60%	台東区多文化共生に関する意識調査
「生活情報の発信・多言語対応」に対する満足度 (「満足」「どちらかといえば満足」と回答する割合)	61.0% (令和2年度)	70%	台東区多文化共生に関する意識調査

【基本目標Ⅱ】多様性を尊重し、誰もが活躍できる地域づくり

評価指標	現状 (令和3年度末)	計画目標 (令和8年度末)	根拠となる データ
「多文化共生に関する意識啓発」に対する満足度 (「満足」「どちらかといえば満足」と回答する割合)	44.7% (令和2年度)	60%	台東区多文化共生に関する意識調査
日本人と外国人が相互に交流する機会があると回答する割合 (「たくさんある」「少しある」と回答する割合)	外国人	46.7% (令和2年度)	台東区多文化共生に関する意識調査
	日本人	15.9% (令和2年度)	

【基本目標Ⅲ】多様な主体との連携による多文化共生の推進

評価指標	現状 (令和3年度末)	計画目標 (令和8年度末)	根拠となる データ
台東区は暮らしやすいと回答する外国人の割合 (「とても暮らしやすい」「暮らしやすい」と回答する割合)	86.1% (令和2年度)	90%	台東区多文化共生に関する意識調査

8 プランの内容

【基本目標 I】外国人と日本人が共に安心して生活できる環境の整備

施策1 コミュニケーション支援の充実

取組の方向性	主な事業
① 日本語学習支援の充実	<ul style="list-style-type: none">・外国人のための日本語教室の開催・子供を対象とした日本語学習支援の実施【新規】
② 情報提供の多言語化	<ul style="list-style-type: none">・多言語対応や「やさしい日本語」による情報発信の推進・多言語に対応した AI チャットボットの活用推進

施策2 生活環境の充実

取組の方向性	主な事業
③ 相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none">・外国人相談窓口の運営・ICTを活用した映像通訳、多言語翻訳機器等の活用
④ 防災・危機管理の推進	<ul style="list-style-type: none">・多言語による防災マップの作成・配布及び防災アプリによる災害情報の提供・外国人被災者への多様な情報伝達手段の活用
⑤ 子育てや教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none">・子供を対象とした日本語学習支援の実施【新規】【再掲】・育児相談における通訳者の派遣
⑥ 日常生活における支援の充実	<ul style="list-style-type: none">・住宅確保に配慮を要する外国人の支援【新規】・外国人への図書館サービスの提供

【基本目標Ⅱ】多様性を尊重し、誰もが活躍できる地域づくり

施策3 多文化共生意識の醸成

取組の方向性	主な事業
⑦ 外国人にも伝わりやすい「やさしい日本語」の普及・啓発	<ul style="list-style-type: none">・職員を対象とした「やさしい日本語」研修の実施【新規】・「やさしい日本語」講座の実施
⑧ 多文化共生の意識啓発及び異なる文化に対する理解の推進	<ul style="list-style-type: none">・多様な食文化に対する理解の促進・日常生活のルールやマナーに関する多言語での意識啓発の推進

施策4 交流を通じた外国人と日本人の相互理解の促進

取組の方向性	主な事業
⑨ 地域で暮らす外国人と日本人の交流機会の創出	<ul style="list-style-type: none">・地域で暮らす外国人との交流事業の実施・多様な主体との協働の推進
⑩ 多様性や経験を活かした地域人材の育成	<ul style="list-style-type: none">・日本語学習支援ボランティア講座の実施・多文化共生推進サポーターの育成・登録【新規】

【基本目標Ⅲ】多様な主体との連携による多文化共生の推進

施策5 多文化共生推進を支える体制づくり

取組の方向性	主な事業
⑪ 多様な主体との連携関係の構築	<ul style="list-style-type: none">・日本語学習支援ボランティア団体との連携・支援・多文化共生に関わる団体・個人との連携関係構築【新規】
⑫ 多文化共生推進体制の整備	<ul style="list-style-type: none">・多文化共生に関する意識調査の実施・多文化共生推進連絡協議会の開催【新規】

台東区民憲章 あしたへ



江戸の昔、「花の雲 鐘は上野か 浅草か」と詠まれたわたくしたちのまち台東区には、磨き抜かれた匠の技や気さくで人情あふれる暮らしが、今もあちらこちらに 息づいています。

わたくしたちは、先人が築いてきた文化や環境を大切にして、伸びゆく住みよいまちを目指し、この憲章を定めます。

たからものを うけつぎ こころゆたかな まちにします

おもてなしの えがおで にぎやかな まちにします

おもいやり ささえあい あたたかな まちにします

みどりを いつくしみ さわやかな まちにします

いきがいを はぐくんで すこやかな まちにします



(平成18年12月14日 告示 第688号)

台東区多文化共生推進プラン【概要版】

発行年月：令和4年3月

発行：台東区

編集：台東区 区民部 区民課 協働・多文化共生係

〒110-8615 東京都台東区東上野4丁目5番6号

電話 03 (5246) 1126

図書登録：令和3年度 登録第63号